

11月を迎え、2学期も後半に入りました。日中の空の抜けるような青空の下、校庭を囲む山々もすっかり色付き、晩秋の景色となっています。

先月17日の教育研究会では、子供たちの学習の様子やトランペット鼓隊の演奏を、大勢の地域・保護者の方々や町内外の小中学校の先生方に参観していただくことができました。また、今月初めの「“学校へ行こう”週間」では、4日間のべ16名の方に来校していただき、体カテストや普段の学習の様子を参観していただきました。たくさんの皆様のご参加、ありがとうございました。

さて、先日の全校朝会で本校の外国語担当の高木先生に「自分と英語の出会い」について、子供たちの前で話をしてもらいました。ご存じの通り、英語は来年度から本格的に「外国語科」として5・6年生が勉強することになっています。英語を得意としている高木先生が、英語を習い始めた時がんばってみよう



＜全校朝会で外国語との出会いを話す高木先生＞

と思ったきっかけが、習った英語を使うと本当に通じたことで会話することが楽しくなってきたからだそうです。高木先生のすごいのは、習った英語をどんどん英会話で試してみたくなって、ついには外国に行くまでになり、カナダなど3つの国を実際に訪れたことです。子供たちはそのとき撮影した外国の写真に目を輝かせながら、自分の持つ興味・関心を現実のものにする高木先生の行動力に感心していました。「外国語っておもしろい」「英会話ができるようになるとこんなこともできる」「努力すれば自分にもできる」という思いや経験を、子供たちとともに今後も積み重ねていきたいと思っています。

今月17日午後から、今年度の神石小学習発表会を予定しています。全学年、生活科・総合的な学習の時間で学習してきた内容を劇にしての発表と、全校合唱・トランペット鼓隊の発表をします。たくさんの皆様のご来校をお待ちしています。

校長 爲平 祐嗣